

十世より出来たり実も多しあれは
 りのふい何れと親し孝行のたまはりも
 子ありて愛見せしむりたてしむる有る親
 分持せしむり位は身よのほの實若
 け煩も出来心もひのふまての盗むは
 公儀御法度をも背き志をりかあらん
 入又は死罪條をにかりの時、状の身よ

たりて、何ほとがうとこれあてのまじ
 妻子兄弟一門の者も業どうけ死とにじ
 以る能く身持せしむりて人住むる中
 毎日毎夜せしむりけりへき事
 小のあまのほのここと余は身持成のせき
 中へくし身よとせしむりて業を捨てぬ
 世の家をも能はつる夜は食物の下に